

令和2年度 被災者支援総合交付金「心の復興」事業（第1回募集分） 交付可能額（団体別）

No.	事業名	提案団体名	取組内容	対象地域	交付可能額(千円)
1	多世代協働による『食づくり・ものづくり』ハッピープロジェクト	ハッピープロジェクト	災害公営住宅や仮設住宅をはじめとした被災者が取り組み以下の活動を支援する。 ○ハーブ・農作物づくりや交流会等の「多世代協働による食づくり」 ○育てたハーブを活用したアロマづくり等の「多世代協働によるものづくり」 ○パネル展示等による「風化防止」	宮城県名取市・仙台市、福島県南相馬市・飯舘村・相馬市、神奈川県	3,850
2	傾聴活動による「心のケア」・「ランチ会」開催、「訪問傾聴活動」等	特定非営利活動法人 仙台傾聴の会	被災者の自立に繋がる場を設定するため、「傾聴カフェ」「傾聴音楽カフェ」「箱庭カフェ」「ランチ会」等を宮城県、福島県において開催する。	宮城県仙台市・名取市・岩沼市・亘理町・山元町・七ヶ浜町、福島県南相馬市・二本松市	3,498
3	令和2年度にじいろぱれっと・心の復興	特定非営利活動法人東北の造形作家を支援する会(略称:SOAT)	アートワークショップを開催し、サロン活動の支援、共同制作の場の設定、講師育成講座の開催と実践の支援、地域産業への住民の参加へのきっかけづくりに取り組む。 また、これまでの心の復興事業での活動を通して感じた地域課題と、その解決に向け取り組んだ結果を本としてまとめる。	岩手県上閉伊郡大槌町、宮城県石巻市、福島県双葉郡富岡町・広野町・大熊町	9,969
4	被災者の主体性醸成による地域コミュニティ支援	国立大学法人岩手大学三陸復興・地域創生推進機構	コミュニティ活動の中心である自治会運営と、住民主体で実施する行事等の企画・実施を支援する。支援は「情報提供(提案)」「主体性醸成」「実践力強化」の3点を軸とし、「住民力を信じる」ことを前提に、状況に応じて支援の度合を見極める。また、行政・社協・NPO等と必ず連携し、被災者や地域住民との協働を通じて地域におけるノウハウ蓄積と、復興期間後を見据えた人づくりを行う。	岩手県・山田町・大槌町・釜石市・大船渡市・陸前高田市・北上市、宮城県・気仙沼市・南三陸町・女川町・塩釜市・多賀城市・仙台市、福島県いわき市・大熊町ほか	13,042

No.	事業名	提案団体名	取組内容	対象地域	交付可能額(千円)
5	地域を超えてつながろう～ふるさと応援団～	一般社団法人JAST (日本ソーシャルセラピストアカデミー)	当団体のコミュニティカウンセラーが対象地域へアセスメント・相談援助を行い、地域・自治会ニーズに応じた住民主体型の音楽ワークショップ等の企画・開催を伴走支援する。 これと同時に、災害公営と地域の交流促進、自治力の強化、自治会間の連絡網づくり、避難先とふるさとの交流などの多様なコミュニティづくりを支援する。	福島県いわき市・南相馬市南町・浪江町・大熊町・郡山市・福島市・二本松市、宮城県石巻市・東松島市・山元町・気仙沼市・南三陸町・名取市、岩手県陸前高田市・大船渡市・住田町・大槌町、東京都江東区	9,808
6	3.11伝えるプロジェクト2020	一般社団法人MMIX Lab	仙台市の「あすと長町災害公営住宅」の自治会の住民等を対象として、被災住民主導の食や歌、民話、アートなどの手法を用いたワークショップ等を伴走型で行うとともに、災害公営住宅近隣のまち等とも連携した住民交流型復興支援活動を行う。 また、3.11を伝える震災紙芝居や震災遺物、復興支援の映像コンテンツなどを活用し、3.11を後世に伝え、これからの防災減災活動にも繋げ、伝える活動を学校や児童館、文化施設などで行う。	宮城県仙台市、東京など	1,997
7	福島ー山形 空と土の交流広場事業2020	特定非営利活動法人青空保育たけの子	被災者のストレスの緩和や心の復興を目指し、「①食農教室」、「②母ちゃんの会」、「③父ちゃんの会」、「④ドキドキ自然発見」、「⑤ありがとうマルシェ」を行なう。	福島県福島市周辺地域(支援対象者居住地)、山形県米沢市周辺地域	3,316
8	東日本大震災からの復興のための移動コミュニティバス事業	一般社団法人チーム王冠	津波などの被災地域で集会場を失ったなど理由で住民交流の機会が減少している地区や、復興住宅でも住民交流を必要としている場所にお茶っこバス(サロン形式のバス)で訪問し、住民主体の交流会を開催する。	宮城県石巻市・東松島市・女川町・気仙沼市、岩手県陸前高田市、福島県南相馬市	10,703

No.	事業名	提案団体名	取組内容	対象地域	交付可能額(千円)
9	宇宙から世界に感謝を届ける市民プロジェクト	一般財団法人ワンアース	<p>東日本大震災発災以降の全世界からの支援に対する御礼の気持ちおよび復興の姿を、国際宇宙ステーション(ISS)から発信するために、昨年度事業では、その計画を東北市民主体で検討してきた。今年度は、これを踏まえ、宇宙に打上げる物品および軌道上からのメッセージ発信方法を多くの被災地住民参加のもと協議し決定する。</p> <p>事業の実施にあたり、被災者、特に次世代を担う多くの小中高校生を企画・立案・実行のプロセスに参画させることにより、ノウハウの蓄積や広域交流が生まれ、当団体の支援が無くなった後も、地域でこの成果を持続的に活用し、震災の記憶と教訓を末永く伝承できる形が残るようにする。</p>	岩手県洋野町、宮城県気仙沼市、福島県福島市を中心とした三県被災全市町村(約40自治体)	3,444
10	聞き書きを用いたふるさとの継承と交流機会の創出	特定非営利活動法人元氣になろう福島	<p>次世代へのふるさとの継承と住民同士のつながりの維持を目的とし、県内外で生活を送る大熊町民を対象として、「聞き書き」の手法を用いたふるさとの文化・歴史・暮らしなどの記録と編纂、成果物の制作、並びにその過程での交流機会の創出や町民の主体的に参加・活動できる環境の醸成に取り組む。</p>	福島県双葉郡大熊町、その他大熊町民の県外避難先(栃木県那須塩原市、東京都など)	3,492
11	避難者と避難受入地元住民との交流と協働による絆づくり	まちづくりNPO新町なみえ	<p>二本松市や福島県外に避難した浪江町民等のうち、農業に興味のある人や、帰還後に農業により生活再建を計画している人を対象として、地元農家の協力を得て、交流の輪を広げる。また、収穫した農作物を利用した収穫祭を開催し、避難者と地元民との交流・絆づくりを推進し、避難者の心のケアと健康障害の解消に積極的に努める。</p>	福島県二本松市	3,328
12	震災前の市街地復元模型を活用した心の復興と震災風化防止事業	一般社団法人SAVE TAKATA	<p>震災前の市街地の模型を岩手県・宮城県の各地域に展示し、被災者が昔語りや子ども・若者との世代間交流を行うとともに、大学生が聞き取りを行う機会を設けることで、震災の記憶の伝承や地域に対する次世代の愛着促進に寄与する。</p> <p>また、被災地での展示に留まらず、都市部及び海外での展示を実施し、県外避難者の心の復興や震災風化の防止にも大きく寄与する。</p>	岩手県陸前高田市・大船渡市・釜石市、宮城県気仙沼市・南三陸町、東京都、カナダ	3,497

No.	事業名	提案団体名	取組内容	対象地域	交付可能額(千円)
13	コミュニティ再生～つながり・ひろがる協働の場 復興交流拠点「みんなの家」～	特定非営利活動法人 ビーンズふくしま 復興交流拠点みんなの家セカンド	復興交流拠点「みんなの家セカンド」を運営し、福島県内の避難者とコミュニティを結び、県外避難者の県内での交流や繋がりを保つための交流会等を開催することで、利用者のニーズへの対応とそれぞれの自立の後押しを行っていく。	福島県福島市・伊達市・二本松市・郡山市・桑折町・飯舘村・浪江町、山形県、秋田県、岩手県、宮城県、関東近辺、他	11,193
14	参加型の心と体の健康イベントやワークショップによる地域活性化事業	一般社団法人PSJ	宮城県および岩手県の沿岸地域を主とした広域地域において、参加・体験型の「心と身体の健康プログラム」イベントを実施し、子どもから高齢者まで広範囲にわたる参加者の生きがい作りや、世代間交流によるコミュニティの再生・創出に寄与する。 また、宮城県の沿岸地域の水産物を中心に、特産品のPRコンテンツの制作や料理教室などのワークショップを開催し、被災地域の学生、生産者(社会人)、高齢者の世代間交流や地域活性化を図るとともに、これからの地域活性化を担う学生や若い世代の地域交流や地域活動へのより一層の参画に寄与する。	宮城県 仙台市・名取市・石巻市・登米市・南三陸町、岩手県釜石市・盛岡市・上閉伊郡大槌町などの広域	4,533
15	被災地の高校生によるまちづくりのイメージ醸成に向けたワークショップ事業	特定非営利活動法人 ハッピーロードネット	地域のつながりやコミュニティの再構築、地域活性化に資するまちづくりを目的に、震災・原発事故を経験した被災地の高校生自らが、被災地の復興状況の調査や地元住民との対話、地元事業者や自治体関係者との意見交換を実施を通じて、まちづくりに係る提案・意識醸成をはかるワークショップを行う。	福島県	3,939
16	「千年希望の丘」岩沼復興アグリツーリズム	インフォコム株式会社 岩沼「みんなの家」事業所	被災者の心身のケアと生きがいづくり、被災地域コミュニティの再構築を図ることを目的とし、岩沼市の集団移転地や被災沿岸地区等の被災者を対象として、市の多重防衛のひとつであり復興のシンボルでもある「千年希望の丘」の植樹や育樹、防災教育・震災語り部を通じた震災の記憶の風化防止、被災地区での農業体験や「岩沼みんなの家」での産地直売・6次産業化、各種教室・WS、これらを通じたツアーや交流イベントの開催に取り組む。	宮城県岩沼市	3,500

No.	事業名	提案団体名	取組内容	対象地域	交付可能額(千円)
17	復興祈念公園を核とした被災3県の連携による震災伝承と防災	公益社団法人3.11みらいサポート	石巻南浜津波復興祈念公園周辺地域で、被災者自らが生きがいを感じながら東日本大震災の記憶や教訓を後世へ伝承する機会を創出し、避難の教訓や街の記憶の聞き取りを通じて離散住民のつながりを回復させる。 また、岩手県・福島県の祈念公園予定地と相互に情報共有・交流しながら、祈念公園を核とした被災3県の連携による被災者主体の震災伝承と防災の活動を推進し、将来にわたり継続可能な体制づくりに取り組む。	宮城県石巻市、岩手県、福島県祈念公園予定地	8,660
18	心と体とまちの栄養復興プロジェクト	特定非営利活動法人日本臨床研究支援ユニット	学校法人医療創生大学の学生等の被災者が主体となり、健康・医療問題に関するワークショップを実施し、その中で「健康IKOII隊」「まちづくりエーション」の2つの取組を複数地域の被災住民及び周辺地域住民を対象に行う。これにより、学生を被災地域の課題を解決する人材となるよう養成するとともに、周辺住民と被災住民のつながりづくり、生きがいづくりを目指す。	福島県いわき市・郡山市・福島市、宮城県仙台市・岩沼市	3,499
19	3.11アートファンタジア2020 石巻・多賀城 3.11の向こう側へ	花とアートで再生復興プロジェクト委員会	アートや創造・文化活動で心の復興をはかる事を目的とし、石巻市・多賀城市における各種アートワークショップやアート茶会等を開催する。	宮城県石巻市・多賀城市	8,940
20	首都圏・広域避難者の自主的な『活力増進と風化防止』プロジェクト	特定非営利活動法人医療ネットワーク支援センター	平成28年度から継続している本事業によって交流会に集い、各種教室に取り組んできた県外避難者が、今後は更に地域住民と交流し、自ら主体的に活動できる人、グループを増やすことを目的に、これまでの事業を推進する。特に、地域住民との交流ができる場を支援するため、新たに地域に出向いて行う出前教室、活動の発表の場を交流会に設ける。 また、生きがいを持って取り組んでいる“震災の教訓を未来に伝える”活動は、語る場を地域の自治会やイベント等に広げて取り組んでいく。	東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県	15,038